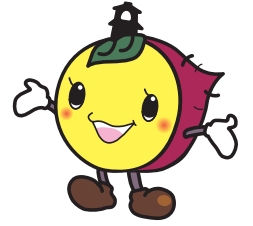




かわごえ

議会だより



川越市マスコットキャラクター ときも



耐震補強工事後の月越小学校体育館

平成23年 第3回定例会

平成23年度一般会計予算の増額補正を可決しました。

定例会の経過

〈6月〉

1日 議案9件上程
報告6件

3日 議案質疑 選挙1件

7日 議会運営委員会

8日 一般質問

9日 一般質問

10日 一般質問

13日 一般質問

14日 一般質問

15日 4常任委員会

22日 議案7件採決

撤回承認2件

選挙1件 同意1件

目次

市長提出議案	(2)
一般質問	(3)~(7)
おしらせ(議会録画放送)	(7)
寄附行為の禁止	(7)
議会情報	(7)~(8)
選挙	(7)
常任委員会	(8)
その他の会議	(8)

市長提出議案 議決結果

平成23年 第3回 定例会 議案名	議決結果
川越市税条例の一部を改正する条例	原案可決
主な内容① 川越市立高階南小学校耐震補強工事請負契約	原案可決
川越市立福原小学校耐震補強工事請負契約	原案可決
川越市立大東西小学校耐震補強工事請負契約	原案可決
川越市道路線の認定 など2件	撤回承認
川越市道路線の認定 2件	原案可決
主な内容② 平成23年度川越市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
<追加議案>	
監査委員の選任につき同意を求める〈新井喜一氏〉	同意



定例会では10件の議案を審議しました。

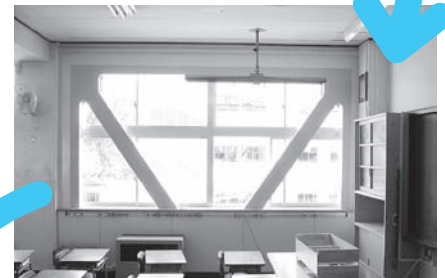
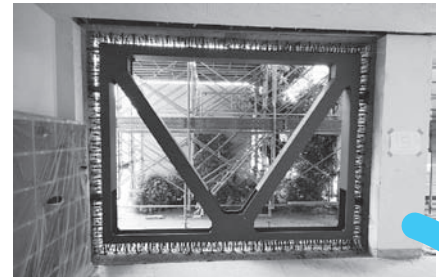
市長提出議案

主な内容①

校舎等の耐震補強工事を完成させることにより、災害時に児童の安全を守り、地域の方々等の緊急避難所を確保します。

学校名	工事箇所	工事期間
高階南小学校	校舎	H23.6.22 ~H23.11.10
	校舎	H23.6.22 ~H23.11.30
大東西小学校	校舎	H23.6.22
	体育館	~H24. 1.20

耐震補強工事はこんな風に行われます。



これで完成です。

主な内容②

働く世代への大腸がん検診補助

大腸がんの早期発見と大腸がん検診の受診を促進する為、以下の方に検診手帳と検診無料クーポン券を送付します。(発送は8月下旬~)

対象者：平成22年度中に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳になられた方。

平成23年度一般会計補正額
1億9,258万2,000円

小規模企業者セーフティー融資 利用者への利子補助等

補助対象者：本年7月15日から24年3月30日の間に融資を利用した方
融資総額：15億円(予定)
利子補助期間：2年間
信用保証料補助：保証料の40%

市政報告

○東日本大震災に伴う対応について

本市では、東日本大震災に際して帰宅困難者への支援を行った他、緊急危機管理対策本部を設置して、被災地への人的・物的支援、被災地からの避難者の受け入れ等を行いました。

・被災地への職員の派遣

緊急消防援助隊、保健師、医師等、延べ162人の職員を被災地に派遣しました。

・一時避難所の開設(農業ふれあいセンター)

3月24日から4月30日までの間、延べ11世帯32人の避難者を受け入れました。

市政に関する 一般質問

今定例会では、25名の議員が一般質問を行いました。発言した全議員の質問及び答弁の一部要約を掲載（氏名下の数字は発言順番）しました。問と答の後には、各議員が今定例会で質問した表題（問）を掲載しています。質問した表題は、紙面の都合上、通告事項を要約したものととなっています。一般質問の詳細や、過去の質問は、会議録でご覧いただけます。

【会議録の閲覧について】

平成二十三年三月定例会の会議録は、図書館、出張所、議会ホームページ等で閲覧できます。今定例会の会議録については、図書館等では、八月下旬頃から、議会ホームページ上では、十月上旬頃から閲覧できます。○会議録を閲覧できる所
・市役所六階
議事事務局
・市役所東庁舎一階 情報公開窓口
・市立図書館（四館）
・出張所（十箇所）

※印の答弁者は表示者以外の関係部長等の答弁も含まれています。



P川越21 石川 智明
節電勤務対応日曜も保育を

1

問民間企業では節電の為に土日稼働日とする事業所が増えている。保育園や学童保育に子供を預けている方への対応策として、日曜保育の実施を。

答福祉部長※ 現在、保育園及び学童保育室で夏の電力需給対策に伴う企業の就業時間等の変更に対する保護者の要望調査を行っている。日曜保育を実施する場

答 調査の結果、日曜日の開園や開室が必要であると判断された場合には、その実施に向けて検討していきたい。
問 節電と市民サービス
答 土地の活用



P川越21 小林 薫
衛星携帯電話導入について

2

問震災時に防災無線や携帯電話が機能しない場合、衛星携帯電話が有効である。川越市でも導入すべきだと思いがいがが。

答総務部長 災害時の通信手段の確保は、今回の東日本大震災だけでなく中越沖地震等でも指摘されているところであり、大変重要であると認識している。

現在本市で整備している。



公明党 大泉 一夫
避難所になる学校等の整備

3

問児童生徒の災害発生後の対応は、自宅に帰すだけでなく耐震性のある学校、地域拠点を避難所とし家族と連絡対応できる体制作りの考えはあるか。

答教育長 児童生徒を自宅に帰すことが危険な場合もあると思われる。保護者が勤務先から学校へ来られない場合や連絡が

答 確実に児童生徒の安全を確保できる体制づくりを各学校が保護者、地域との連携によって進めていくことが必要である。また、児童生徒を一時的に待機させることなども含め、避難所としての学校のあり方についても早急に検討したい。
問空き家住宅等の諸問題
答職員再任用制度の検証
問災害時の登下校対策



公明党 桐野 忠
防災行政無線の活用方法

4

問防災無線が聞き取りにくい方達の為に、小型無線機の貸出事業や、放送内容を再生するテレホンサービスを実施できないか。

答総務部長 防災行政無線は本市の震度計で震度四以上の地震が発生した場合

は自動的に放送されるが、設置から二十年以上経過しているため、聞こえない等の苦情を多く



公明党 中村 文明
小学生に安全な通学を！

5

問越境通学に関して、難しい状況があると認識しているが、全員が越境通学をすることではないと思う。もう一度越境通学の検討をお願いしたい。

答学校教育部長 本市はふじみ野市に教育事務委託をし、福原小学区域の大野原と武蔵町の児童七十三名がふじみ野市立三角小学校に通学している。

いて平成十三年、十七年、二十二年と協議を重ねてきたが、ふじみ野市の大規模開発が三角小学校のマンモス化をもたらしかねず、合議に至らなかった。今後も大規模開発が予定されており、教育事務委託の学区拡大は難しいとの回答をふじみ野市より伺っている。
問小中学校の通学の問題
答犯罪防止教育



公明党 近藤 芳宏

川越農業の担い手育成を！

6

問 活力ある川越農業をめざす為には、農業の担い手の育成・確保に光をあて、新規事業を含め更なる推進が必要と考えるがどうか。

答 戸副市長 農業の継続・維持には、経営者の努力や活躍が不可欠であり、担い手への支援は本市の農業発展を左右する大きな課題である。

答 戸副市長 農業の継続・維持には、経営者の努力や活躍が不可欠であり、担い手への支援は本市の農業発展を左右する大きな課題である。



やまぎき 高梨 淑子

協同によるまちづくり

8

問 市民の学びの場となる市の関係施設（市民活動生涯学習施設、市民団体支援施設、男女共同参画推進施設）の事業展開を確認したい。

答 市民部長※ 市民活動施設には生涯学習センター的な機能をもたせ、大

援施設は、NPOや市民活動団体の活動拠点とし、情報提供や団体間の交流促進の場として活用していきたい。更に、男女共同参画推進施設では、各種研修会等を開催するとともに、団体・グループへの活動や交流の場の提供、相談業務等を行っている。また、市民団体支



公明党 清水 京子

川越市駅西口開設の実現を

10

問 川越市駅の西口開設を今後どのように進めていくのか。特に、東西自由通路の設置について、市はどう考えているのか。

答 都市計画部長 市駅周辺のまちづくりについては、東口駅前広場を含む都市計画道路市内循環線の整備、橋上駅舎化による西口開設、東西自由通路の設置等を行う必要がある。

しかし、これらの事業を実施するには多額の事業費と事業期間を要することから、段階的な施策として、第一五七号踏切の交通問題の改善を図るために、東西自由通路の設置に向けた検討を、鉄道事業者との協議を踏まえながら進めていきたい。



やまぎき 中原 秀文

民間施設の果たす役割

7

問 川越駅西口地域全体にぎわい創出のためには、特に民間によるにぎわい施設の果たす役割が重要だと思いが、市はこの点をどのように考えるか。

答 都市計画部長 民間施設の果たす役割については、公共施設利用者や周辺住民の利便性の向上を図ると共に、ふれあい拠点施設の求心力を高め、ひいては川越駅西口地区

全体のにぎわい創出に寄与する重要な施設であると認識している。昨年度から実施の民間事業者へのヒアリングに対し、商業、福祉・医療系等の業種が関心を示しているが、より多くの事業者に手を挙げて頂けるよう、募集条件等の検討を行っていきたい。

問 放射能汚染された土壌改良にヒマワリ、菜種が一定の効果があると聞かすが、市内で栽培されたヒマワリの種を被災地に送ることは可能か。

答 産業観光部長 ヒマワリ等の放射能除染効果は十分に立証されていないが、ヒマワリ等には土中の水分を多く吸う性質があり、農水省がこれを生かして、土壌内に残る放射



やまぎき 倉嶋 美恵子

原発被災地にヒマワリ支援

9

問 放射能汚染された土壌改良にヒマワリ、菜種が一定の効果があると聞かすが、市内で栽培されたヒマワリの種を被災地に送ることは可能か。

答 産業観光部長 ヒマワリ等の放射能除染効果は十分に立証されていないが、ヒマワリ等には土中の水分を多く吸う性質があり、農水省がこれを生かして、土壌内に残る放射

性物質のセシウムも一緒に吸い込むか調査する予定である。種を被災地に送ることについては、古谷地区で活動する農業団体に伺ったところ、例年、圃場で景観形成と摘取りイベントのためにヒマワリを栽培しており、協力を頂けることが確認できたので可能であると考える。

問 市街化調整区域では、公共下水道の整備は、いつ頃までに終わるのか。また、市長の本事業に取り組む決意を聞きたい。

答 市長 公共下水道は極めて重要なインフラであるが、今のペースで行くと、全て公共下水道を市内に通すには百年近くかかるという現状である。昨年には県から当面整備が出来ないところには



民主党 山根 史子

調整区域も下水道整備を

11

問 市街化調整区域では、公共下水道の整備は、いつ頃までに終わるのか。また、市長の本事業に取り組む決意を聞きたい。

答 市長 公共下水道は極めて重要なインフラであるが、今のペースで行くと、全て公共下水道を市内に通すには百年近くかかるという現状である。昨年には県から当面整備が出来ないところには

合併浄化槽を設置するよう要請があった。最終処理場を新たに広域で作らなければならないという問題もあるので、全ての市民に同じようにインフラを整備しなければならないという思いはあるが、何十年もかかる部分は合併浄化槽で行かざるを得ないのでと考えている。

問 下水道普及状況と計画安全でおいしい水道水



公明党 若狭 みどり
デマンドバスの導入を

12

問高齢者や障がい者、郊外の自家用車等の移動手段がない市民が、公共施設や病院・銀行等、中心市街地に行き来できるデマンドバス導入を問う。

答市長※ 高齢者や障害者、いわゆる交通弱者の方々に對する移動手段の確保は重要な課題であると認識している。中でも、公共交通機関が十分に整備されていない地域の自

家用車等をご利用出来ない方々にとつて、移動手段の確保は重要な課題であると考え。 「川越シヤトル」の赤字改善の要

請もあるが、今後は高齢者や障害者の方々にとつて利用しやすい公共交通

のあり方について前向きに検討していきたい。

市民の交通手段

節電対策
業務継続計画



やまぎき会 吉野 郁恵
新河岸駅と周辺整備の実現

13

問現在、新河岸駅を中心に東西の道路や駅前広場の用地取得が進められているが、買収率と完成目標を聞きたい。

答都市計画部長 平成23年5月末現在の用地取得率は、全体で48%となっている。

新河岸駅の橋上化を想定した東西連絡自由通路及び駅前広場を含むアクセス道路については、平

成27年度末を完成目標に事業を進めていきたい。なお、東武東上線により分断されている地区の東西を連絡する道路と位置付けている(仮称)東西道路及び寺尾大仙波線の第2期分の整備については、アクセス道路整備の目的が立ち次第、順次実施していきたい。

新河岸駅整備駅橋上化
災害時踏切遮断の影響



民主党 片野 広隆
計画的な歩道整備の実施を

14

問通学路指定されている狭隘な既設橋の歩道整備を急ぐと共に、子供達や歩行者の安全を確保する為にも歩道整備計画を至急策定していくべきでは。

答建設部長 道路交通体系の整備については、本市におけるまちづくりビジョンのひとつに位置づけている。特に児童や生徒、高齢者等に配慮した安全な歩道の整備は、人

を優先に考える重点施策として、幹線道路や生活道路の整備と併せて、積極的に推進しているところである。今後、通学路の整備や安全対策、歩行者の移動の円滑化を図る

道路の整備が求められるなか、歩道整備の効果的な推進のための計画づくりを検討していきたい。

歩道整備と市の考え

総合卸売市場の諸課題



民主党 山木 綾子
トイレ設置を望む!

15

問寺尾遊水池は多くの市民に愛される施設となっている。しかし整備途中と言う事もあつてか、トイレが設置されていない。一日も早い設置を望む!

答建設部長 寺尾調節池は、新河岸川の洪水防止の機能を保持しながら、周囲を住宅や学校に取り囲まれ、市民が自由に遊び、交流出来る場所でもある。多くの方々が周辺

を散策等に利用されていることは認識しており、トイレの設置によって、利用者の利便性が向上するものと考え。したがって、設置については、その場所や規模、管理方法等について、今後、管理者である埼玉県や関係各課と協議していきたい。

通学定期券代の助成
東日本大震災の影響
寺尾遊水池の整備



みんなの党 明ヶ戸 亮太
客引問題解消に向けて

16

問現状において違法な客引きが存在する以上、市として今後もつと踏み込んだ防止対策を取る必要があると考えるが、市の見解は?

答市民部長 市民や観光客等が昼夜を問わずに、安全に安心して歩くことができる環境を整備していくことは、本市にとつても重要な課題であると認識している。

本年の八月一日に埼玉県暴力団排除条例が施行されることから、これを契機に防犯の機運も更に高まると思われる。今後は、防犯キャンペーンや、防犯用チラシなどを利用

した街頭犯罪の防止と併せて、違法な客引きの防止に係る周知の方法工夫をこらし、啓発に努めていきたい。

クレアモール客引問題



日本共産党 今野 英子
子ども医療費無料化拡充を

17

問子ども医療費の支給対象を現在の小学校三年生から六年生までに拡充するのはいつ頃になるのか市長の考えを伺う。

答市長 安心して子どもを産み育てる環境を整備することは、国をあげての重要課題であり、経済的支援策である医療費の負担助成は、子育て支援の有効な手段と認識している。

本市の子ども医療費の無料化については、昨年七月から通院を小学校三年生まで拡大したところである。小学校六年生までの無料化については、本市の財政状況や子育てに関する他の施策も勘案して、出来るだけ早い時期に実現していきたい。

子ども医療費の拡充
新河岸駅と周辺整備



日本共産党 柿田 有一

太陽光発電補助の拡充を

18

問市は原発依存を減らすため節電し、節約分を市民還元で太陽光発電に補助してきた。申請が増加し予定分に達しているが補正予算などの考えは。

答環境部長 本市はもんだじめのナトリウム漏れ事故をきっかけに、平成八年度から節電運動を始め、九年度から太陽光発電システム設置事業補助を開始した。今年度の申請状況

況は、当初予算の三百件に対し、五月末現在で二百八十七件である。補正予算については、川越市地球温暖化対策地域推進計画の中で、太陽光発電システムなどについて重点的に普及を図るとされ

問原発に頼らない社会を資源化センター諸問題



日本共産党 川口 知子

全世帯に防災マップ配布を

19

問家の近くの避難所はどこか？と聞かれる。大地震に備え、避難所や防災井戸、備蓄倉庫を含めた防災マップを全世帯に配布すべきではないか。

答総務部長 「川越市防災マップ」については、平成十八年度に増刷して以来作成していないが、平成二十一年度には、地域の危険度等を示した「川越市地震ハザードマ

ップ」を作成し、その中で避難場所や救急指定病院等を記載している。市民の防災意識を向上させるのに有効な方法の一つである「川越市地震ハザードマップ」の内容

問市の防災対策
答大型店出店計画の影響



日本共産党 本山 修一

利用しやすい川越駅東口に

20

問車いす利用者がバスを利用できるようにエレベーター設置は今後どのように進めるのか。

答建設部長 バス乗車場エレベーター設置案については、要望や交通バリアフリー法の観点からその設置が急務とされている。本市としても、「川越市道路交通環境安全推進連絡会議」にて協議検討を行うと共に、検討調

査を実施してきたところである。今後については、今年度に行なわれた調査検討結果を踏まえ「エレベーター設置の詳細設計業務委託」を実施する予定

問木野目地域等水害対策
答利用しやすい川越東口



みんなの党 吉田 光雄

一番街交通問題の円満解決

21

問現在の事業の進め方は市民の意見の対立を解消することは難しい。今後は地域との合意形成に力を注いで頂きたいと思

答都市計画部長 一方通行や歩行者天国を実施することにより、車の流入を減らし、川越の街をより魅力的なものとし、人々の安全を確保することとは重要な課題であると

考えている。基本的には二十一自治会、商店街等を委員に含んだ「北部市街地交通円滑化方策検討委員会」から頂いた提言を尊重して

問一番街の交通諸問題



農クラブ 関口 勇

仮称霞ヶ関西公民館進捗？

22

問事業の進捗状況や建設候補地の決定の経過等、今後の具体的な取り組みについて伺いたい。

答教育総務部長 平成二十一年九月に候補地を決定したが、本年一月に地主の方のご逝去により、相続人の方から建設候補地の変更要望が出された。庁内関係課、当時の検討懇話会の委員、霞ヶ関支会の方々と調整を図った

結果、候補地は、当初方針決定された候補地に隣接する同規模の土地とすること、霞ヶ関支会会

問仮称霞ヶ関西公民館



農クラブ 吉敷 賢

南古谷駐在所を駅前交番に

23

問南古谷駐在所を駅前に移転して交番にすることで、駅前広場や周辺道路の違法駐車も少なくなり、治安上市民の安心感を増すと思うが、いかがか。

答市民部長 県警本部及び川越警察によると、地域の皆様の熱意が実を結び、駐在所を廃止して、南古谷駅南口に交番を新築する方針が決定したとのことであり、今年度中

の交番開設を目指して、地域の皆様等への説明会や関係機関との調整を進めたいとの説明であった。市としても、このこと

問三駅周辺地区整備計画
答南古谷のまちづくり



震灾時の帰宅困難者支援
震子一ム 高橋 剛

震灾時には、あらかじめ想定に基づき自治体間の連携や備えがあれば、帰宅困難者の安全確保につながる。他自治体との連携について市の考えは、自治体との連携については、避難所に関する情報の共有化、仮宿泊場所の確保など、体制づくりの構築を検討していきたい。また、九都県市で締結

する「災害時における帰宅困難者支援に関する協定」のもと、各事業所や店舗等における支援について周知していきたい。地震対策と市民生活
暑さ対策と電力需給



無所属 川口 啓介
児童保育室でも避難訓練を

震灾時に対応するための責任者を決め、指揮命令系統を明確にした職員体制を整備した上で、児童保育室でも避難訓練を実施すべきではないか。

教育総務部長 災害時の安全対策として、学校と連携・協力して、避難訓練を実施したい。また、避難訓練の実施にあたっては、現場にいる職員の役割を分担した体制を整

備し、各担当職員が自分の役割を認識するとともに、全職員が危機管理意識を持って実施できるようにしたいと考えている。なお、三月十一日に発生した地震の際は、児童保育室危機管理マニュアルに基づき初期対応した後、学校の動きに合せ、校庭に避難をした。震灾後の取組みと課題
学校等での喫煙

市議会本会議のCATV放送(録画)

市議会では、定例会中の開会日・議案質疑日・最終日の本会議の様態をケーブルテレビで録画放送しています。

次回予定 : 次回の定例会の日程が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

放送時間 : 正午から

放送CH : JCN関東 地上デジタル113ch

詳しくは議会事務局 議事課までお問合せ下さい (電話 224-6067)



寄附行為の禁止にご理解とご協力をお願いします。

議員が選挙区内の方にお中元を贈ることや、暑中お見舞い(答礼のため、自筆で書いたものを除く)等を出すことは、公職選挙法で禁止されています。有権者が議員に寄附を求めることも禁止されています。

川越地区消防組合議会議員の選挙

選挙の結果、次の議員が当選しました。

桐野 忠	議員
柿田 有	議員
関口 勇	議員
高橋 剛	議員
清水 京子	議員

選挙

片野 広隆	議員
吉田 光雄	議員
若海 保	議員
小野澤 康弘	議員
江田 肇	議員

選挙

議会情報

※6月24日に消防組合議会が開催され、議長に江田肇議員、監査委員に清水京子議員が選出されました。

選挙

埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

広域連合議会の議員に欠員(3人)が生じた為、県内の市議会議員4人(川口市・日高市・本庄市・さいたま市)から立候補の届け出があり、本市議会でも選挙を実施しました。

この選挙の当選人は、県内全ての市議会における選挙での得票数の合計により、決定します。



文化教育常任委員会

- 委員長 山木 綾子
- 副委員長 若狭みどり
- 委員 明ヶ戸亮太
- 委員 三浦 邦彦
- 委員 中村 文明
- 委員 中原 秀文
- 委員 牛窪多喜男
- 委員 本山 修一
- 委員 江田 肇



常任委員会

これから2年間このメンバーで活動します。

総務財政常任委員会

- 委員長 大泉 一夫
- 副委員長 柿田 有一
- 委員 川口 啓介
- 委員 高梨 淑子
- 委員 吉田 光雄
- 委員 若海 保
- 委員 加藤 昇
- 委員 近藤 芳宏
- 委員 新井 喜一



産業建設常任委員会

- 委員長 高橋 剛
- 副委員長 片野 広隆
- 委員 今野 英子
- 委員 吉野 郁恵
- 委員 関口 勇
- 委員 倉嶋美恵子
- 委員 石川 智明
- 委員 小野澤康弘
- 委員 清水 京子



保健福祉常任委員会

- 委員長 小林 薫
- 副委員長 桐野 忠
- 委員 山根 史子
- 委員 荻窪 利充
- 委員 川口 知子
- 委員 小ノ澤哲也
- 委員 三上喜久蔵
- 委員 久保 啓一
- 委員 吉敷 賢



政務調査費経理責任者会議

- 川口 啓介 議員
 - 今野 英子 議員
 - 桐野 忠 議員
 - 山木 綾子 議員
 - 吉田 光雄 議員
 - 関口 勇 議員
 - 倉嶋美恵子 議員
 - 高橋 剛 議員
 - 石川 智明 議員
- ※この会議は、議長が招集し、副議長が座長を務めます。

図書室委員会委員

- 委員長 石川 智明
- 副委員長 川口 啓介
- 委員 今野 英子
- 委員 明ヶ戸亮太
- 委員 三浦 邦彦
- 委員 中村 文明
- 委員 高梨 淑子
- 委員 片野 広隆
- 委員 牛窪多喜男

図書室委員会、政務調査費経理責任者会議、広報紙編集委員会の構成が次のとおり決まりました。

その他の会議

広報紙編集委員会委員

- 委員長 高橋 剛
- 副委員長 川口 知子
- 委員 山根 史子
- 委員 川口 啓介
- 委員 明ヶ戸亮太
- 委員 吉野 郁恵
- 委員 若狭みどり
- 委員 加藤 昇
- 委員 小林 薫



編集後記

先の東日本大震災は、東北三県をはじめとする各地に大きな爪痕を残しました。そのような中、四月の改選により三十六名の議員が選出されました。議員定数が四十から三十六に見直されたこの選挙で、新人議員が九名また、女性議員も九名誕生するなど議会の構成も大きな変化を迎えました。

議会広報紙編集委員会も九名の新たな委員による編集がスタートし、今回が二度目の「議会だより」発行です。

今後、各委員の力を合わせ、議会の様子をよりつぶさに伝えられるよう、また、市民の皆様の議会についてもっと知りたい、という要望に応えられるよう、紙面の充実に努めてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

(高橋 剛)



編集委員会

発行 川越市議会
編集 川越市議会広報紙
編集委員会
電話 049-224-6067